

鎌倉交響楽団

サマーコンサートプログラム

と き：平成11年8月7日（土）

午後7時～8時30分

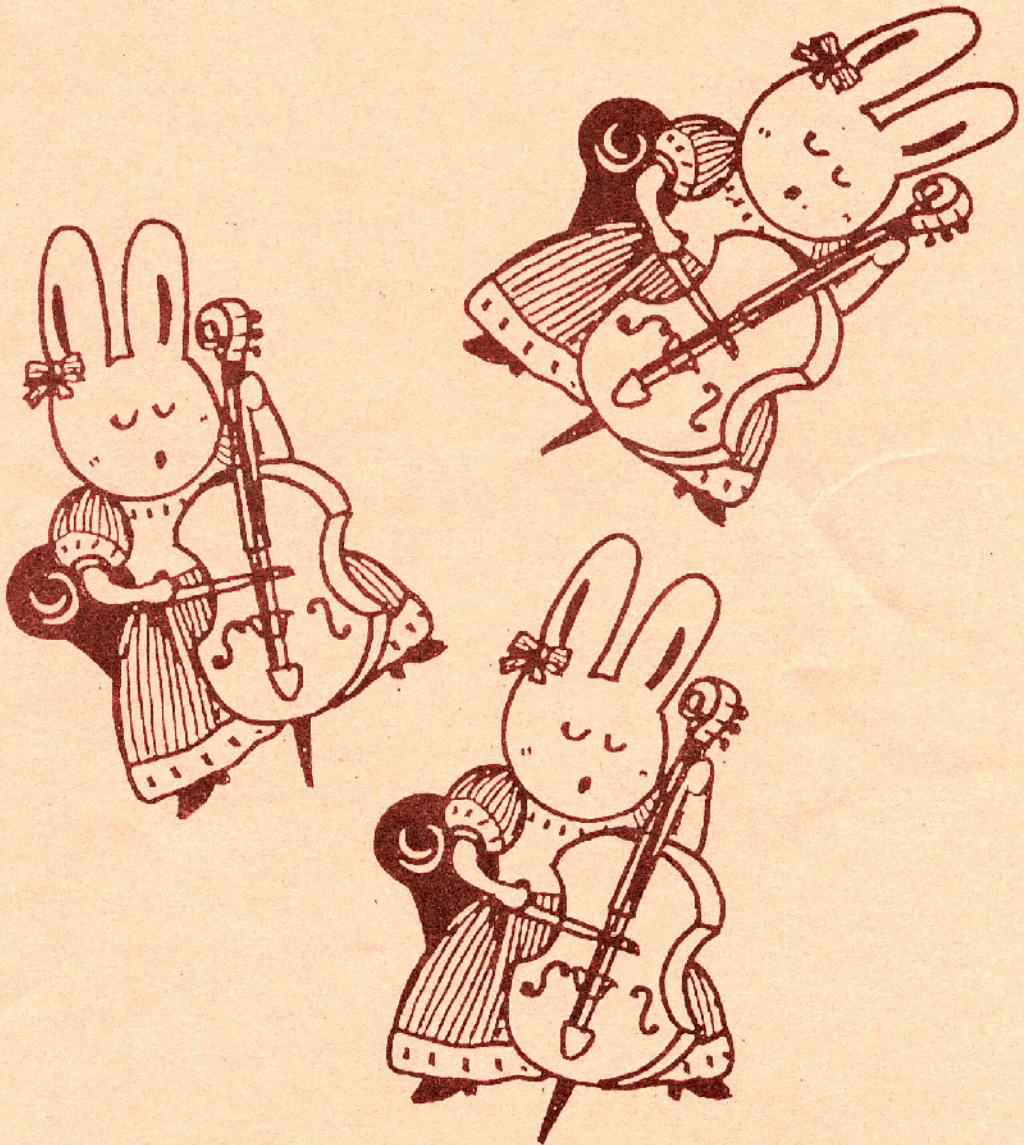
（開場 6時30分）

ところ：鎌倉芸術館小ホール

指揮とおはなし

：家田厚志

演奏：鎌倉交響楽団





演奏曲目



1. 楽劇「ニュールンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
リヒアルト・ワグナー作曲

2. ハンガリー舞曲より 第1番、第5番、第6番
ヨハネス・ブラームス作曲

休息

3. 鎌倉市歌
大木惇夫作詞／矢代秋雄作曲

4. 交響曲 第5番 ハ短調 作品67
ルードヴィッヒ・ヴァン・
ベートーベン作曲



指揮者のプロフィール

家田 厚志 (いえだ あつし)

大阪追手門大学心理学科(音響心理学専攻)卒業という異色の経歴をもつ。1988年に劇団四季にて「オペラ座の怪人」日本初演を指揮して大成功させ、一躍注目をあびる。以来、その活動は国内のみならず、1986年台湾にて台北首都歌劇団、1993年ウクライナ(旧ソ連)にて国立キエフ・オペラ・バレエ管弦楽団を指揮。さらに、1994年から1996年まで中国・上海放送交響楽団常任指揮者をつとめ、ヴァイオリンの巨匠アイザック・スターンを招いて協奏曲を共演するなど、同団の実力、地位を飛躍的に向上させた。この他、ラジオのD.J、テレビ・コマーシャルでも活躍。現在、上海放送交響楽団首席客演指揮者。

☆楽劇「ニュールンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

R.ワーグナー(1813-1883)

1868年、ミュンヘンにて初演された「ニュールンベルクのマイスタージンガー」はワーグナーの楽劇の中で唯一の喜劇作品です。「マイスター」は「親方」、「ジンガー」は「歌手」のこと。舞台は16世紀のニュールンベルクにおける職人の歌合戦です。

前奏曲は堂々たる「マイスタージンガー」の動機に始まり、楽劇中に使われる様々な動機が現れます。

☆ハンガリー舞曲より 第1番、第5番、第6番

J.ブラームス(1833-1897)

ブラームスはハンガリーのジプシー音楽に高い関心を持ち、機会があるごとにジプシー音楽を採譜し、それを題材にピアノのための「ハンガリー舞曲集」として編曲しました。1869年に第1集と第2集。1880年に第3集、第4集が出版され、好評を博し、さらにブラームス本人や他の作曲家によりオーケストラ曲として編曲されることとなりました。

今日はその中でも最も有名な第1番、第5番、第6番をお聴きいただきます。

☆交響曲第5番 八短調 作品67

L. v. ベートーベン(1770-1827)

「運命」というニックネームは、第1楽章の冒頭について弟子のシンドラーが「運命はかくのごとく扉をたたく」と伝えたことに由来します。

今からおよそ190年前の1808年にウイーンでベートーベン自身の指揮により初演されたこの曲は、今でこそ「クラシック音楽」ですが、当時としては画期的な曲でした。例えば、トロンボーン、ピッコロ、コントラファゴットといったそれまで交響曲に使われていなかった楽器が使われていること、第3楽章と第4楽章が休みなしで連結されていること、冒頭の4音(運命の動機)を全曲中に徹底してくり返し配することで曲全体の統一性を構築していること、短調で始まる曲を最後は長調で終えることで「苦難から勝利へ」といわれるドラマティックな達成感を表現していることなどです。ちなみに1808年という年は時代的には、日本は江戸時代で間宮林蔵がカラフト探検をしたりしています。また、前半の「ニュールンベルクのマイスタージンガー」が初演された1868年は日本の明治維新の年です。

鎌倉市歌

大木惇夫 作詞
矢代秋雄 作曲

Moderato

mf

ゆ い が は ま し ず け き な み に ひ

と の わ を い ざ な う み や こ や ま の さ ち う み

cresc.

の さ ち ゆ た け く ふ う こ う は み や

f

び に も す が し く せ か い の ひ と の こ こ

f *mp*

ろ を ひ く よ に じ は た つ に じ は よ

f *3*

ぶ か ま く ら か ま く ら あ あ は え あ る み や こ

鎌倉市歌

一、由比ヶ浜しずけき波に

人の和をいざなう都

山の幸海の幸ゆたけく

風光はみやびにも清しく

世界の人の心を惹くよ

虹はたつ 虹は呼ぶ

鎌倉 鎌倉 ああ栄えある都

大仏の気高き在り所

慈悲と愛あふるる都

山の幸海の幸ゆたけく

栄光をかかぶりて興りて

久遠の智慧の泉を掬むよ

虹はたつ 虹は呼ぶ

鎌倉 鎌倉 ああ歴史の都

さみどりの林と丘と

砂の白むつめる都

山の幸海の幸ゆたけく

住居して快よく明るく

風懐ゆかし 貝殻鳴るよ

虹はたつ 虹は呼ぶ

鎌倉 鎌倉 ああ文化の都

三、